ボーリング柱状図

調査名	一般国道183号　設計地質調査業務委託（交通安全）平子
事業・工事名	

ボーリングNo	5	2	3	3	2	0	8	7	0	0	2

シートNo

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	庄原市西城町平子							北緯	34° 54' 40.9"
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	平成 29年 2月 27日 ～ 29年 3月 1日					東経	133° 5' 54.8"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	293.67m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製 D1-B	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	7.00m								エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	東邦地下工機製BG-3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	292.42	1.25	1.25		礫混り粘土質砂	暗灰	緩い		有機質土主体の表土。草木根が多く侵入する。φ50mm程度の礫を所々混入する。
	292.02	0.40	1.65		シルト混り砂	濃灰	非常に緩い		少量のシルト分を含む細砂の砂。
2					玉石混り砂礫	暗褐～褐	中位		φ30mm程度の亜円～亜角礫主体。10～25cm大の玉石を混在する。礫間は粘土分を含む砂質土。
3									
4	289.52	2.50	4.15						
					風化礫岩	青灰			10cm大の玉石を主体とする。玉石間は風化しており、土砂状を呈する。
5	288.47	1.05	5.20						
6					礫岩	青灰			水平～45°方向に発達した亀裂により、コアは15cm程度の棒状となる。所々、亀裂に沿って岩片状となる。
7	286.67	1.80	7.00						
8									
9									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
	1.15	0/10	1/38		1/50	1
	1.65				50/3	500
	2.00					
	2.03					
	3.00	貫入不能			50/0	
	3.00					
	4.00	貫入不能			50/0	
	4.00					
	5.00	貫入不能			50/0	
	5.00					
	6.00	貫入不能			50/0	
	6.00					
	7.00	貫入不能			50/0	
	7.00					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						2/27
						2/28
						3/1